

●1歳6か月健診での対応について

Q.

先日1歳半健診に行きました。歯科衛生士さんに言われたことが今でもひっかかっていたのでお手紙を書かせていただきました。

はみがきを夜だけしかしていない、朝は共働きで朝7時半には家をでなければならぬ、子供は3歳児と1歳児いて、ワンオペの状況なのですが、朝も歯磨き頑張ってもらいたいとのこと。歯磨きも親だけ最初から仕上げ磨きだけするのはやめて一度子供が自分で歯磨きできるように一度させてから親が仕上げ磨きをするように頑張ってもらいたい。忙しいので無理ですと答えたら、他の人は頑張っている人が多いからと言われました。

他の人は私よりもゆっくりに時間に出勤している場合じゃないのでしょうか？子供1人だけいる人じゃないのでしょうか？わかりませんが、他の人と比べるのはいかなものかと。1人目の子の親は頑張ってもらえば頑張ると思います。ですが、現実でできないことが多いと思います。私は保育士をしているのですが、頑張っている人ほどできなくて、できない自分に自信をなくして、気持ちが下がってしまうママが多いです。そう言う人と比べる人がいるから育児に悩み自分を責めるママが増えていくのではないのでしょうか？保健師さんや歯科衛生士さんは見ると、50代60代が多いように思います。その時の時代と今の子育ての仕方は違います。言葉は気をつけた方がいいと思いました。

また、虫歯がないので、母乳をやめた方がいいとは言われませんでした。私が言わないでと言わなかったら言っていたと思います。虫歯があろうがなかろうがやめた方がいいのは親が1番わかっていることです。でもできない環境なのは歯科衛生士さんは知らないですね。簡単に言うのはやめた方がいいのではと思いました。

親と子、家族の環境のタイミングで決めるので、歯科衛生士さんは言わないでと新発田市のママ代表して伝えます。長文失礼いたしました。

意見として見て頂けたらとおもいます。

(令和7年4月受付)

A.

1歳6か月健診において、歯科衛生士の発言により御不快な思いをさせてしまい、深くお詫び申し上げます。

新発田市では、生涯にわたる健康増進を図るため、生後10か月から、3歳まで半年ごとに歯科健診を設け、お子様のお口の健康を育むための基礎づくりを保護者の皆様と一緒に取り組むこととしております。特に、歯が生え始める乳幼児期は、むし歯になりやすい時期であり、歯科に関する望ましい習慣を身に付ける大切な時期でもあります。

担当課に確認したところ、当日、対応した歯科衛生士は、お子様のお口の健康を思慮するあまり、お気持ちや環境に寄り添えない結果になったものと聞いております。

現在のライフスタイル・生活様式などは様々で、多種多様な価値観があることを職員が理解し、今後は、子育ての不安を少しでもやわらげることができるよう、子育てされている皆さま一人ひとりの気持ちや環境に寄り添い、押しつけとならない情報発信に心掛けるよう指示をいたしました。

(令和7年5月8日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。